



★環境かわら版編集部★

NISO 事務局(生活環境課内)

連絡先:22-7001 内 2555、2556

s-kankyo@city.nobeoka.miyazaki.jp

◎今号のめあて◎



マイバッグ・マイボトル持参でプラゴミを減らしましょう。

脱プラスチックに向けて

プラスチックはその便利さから生活に欠かせない素材として浸透し、私たちの身の回りに溢れています。現在、プラスチックは世界で年間約3億6700万トン(2020年)生産されています。しかし、プラスチックが環境へ及ぼす影響は大きく、最も問題視されているのが海洋プラスチックごみによる海洋汚染や生態系への影響です。毎年約800万トンのプラスチックごみが海に流出し、このままのペースでは2050年には海洋プラスチックごみの重量が魚の重量を上回ると言われています。

このような問題から、「脱プラスチック」の動きが世界中で広がっています。プラスチックごみを減らすために一人ひとりが意識し、できることから取り組んでいくことが大切です。



プラスチックは
えらんで減らしてリサイクル

★今日からできること★

・マイ〇〇を持ち歩く

例) マイバッグ、マイボトル、マイ箸などを持ち歩き、マイ容器、マイトレイ、マイカップなどを持参可能なお店にはすすんで持参する。

・木や紙などのサステナブルな自然素材を選ぶ

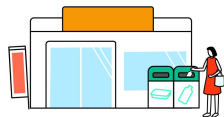
・使い捨て商品ではなく、繰り返し使える商品を選ぶ

例) 食品の保存には繰り返し使える保存容器やシリコンラップを使う。

・簡易包装のお店を利用する

例) 量り売りで商品を提供しているお店を利用する。

・捨てる時にはリサイクルできるよう分別する



◆環境トピックス◆【NHK 他】

再エネ 最大の発電源になると IEA 報告書

国際エネルギー機関 (IEA) は 2025 年には太陽光や風力など再生可能エネルギーが石炭を抜いて最大の発電源になる見込みだとする報告書をまとめた。これは、ロシアの軍事侵攻によりガスと電力の価格が高騰した影響から、各国が化石燃料への依存を減らして再エネの普及を進めていることが影響している。今後5年間の追加発電容量全体の90%以上を再エネが占めるといふ。

「世界も火力回復している」との報道もあるが、それはあくまで一時しのぎであり、世界は着々と脱原発と脱炭素を進め、再生可能エネルギーは伸び続けている。



グリーン購入に取り組みましょう

グリーン購入とは、購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境や社会への影響を考え、環境負荷ができるだけ小さく、かつ社会面に配慮した製品やサービスを、環境負荷の低減や社会的責任の遂行に努める事業者から優先して購入することです。

グリーン購入は脱炭素化にもつながります。延岡市は今年度8月にゼロカーボンシティ宣言をしている観点からも、積極的にグリーン購入に取り組む必要があります。



物品等を調達する際には、グリーン購入法やグリーン購入ネットワークのガイドラインに適合した商品や、エコマーク商品、グリーンマーク商品を選ぶようにしましょう。